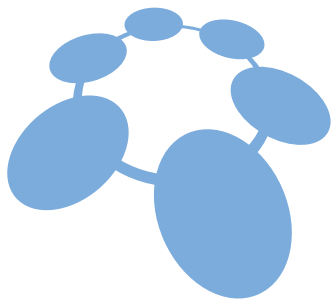


●行動期間●
2012年
5月30日～6月5日
11月1日～7日

いっしょにやろうよ、
できること!

テレビ・ゲーム・パソコンを消して 読書する共同行動2012



呼びかけ:岩手県幼小中高大専ESD円卓会議

- 岩手県国公立幼稚園協議会
- (社)岩手県私立幼稚園連合会
- 岩手県小学校長会
- 岩手県中学校長会
- 岩手県高等学校長協会
- (社)岩手県私学協会
- いわて高等教育コンソーシアム
- (社)岩手県専修学校各種学校連合会

趣旨

温暖化防止の啓発と教育の連携を目指して、岩手県の幼稚園から小・中・高等学校、大学、専門学校が「環境ウィーク」を設定してともに取り込む共同行動です。クラスや園・学校を単位にみんなでいっしょに取り組み、その成果をCO₂削減量として総計して社会に公表し、環境への意識を啓発します。CO₂削減の共同行動を第一として、できるだけ読書につなげることを目指します。

PTA・保護者のみなさんにも理解と協力を呼びかけるとともに、市民や行政、諸団体にも協力を呼びかけます。

2012年の実施要領

- (1)共同行動の「登録」は、園・学校単位を原則として、参加した「人数」と「時間」を春と秋の期間中に代表者がホームページに登録していただきます(又は裏面のFAXをご利用ください)。
- (2)「人数」は、行動をした園児・児童・生徒・学生の実数とします。1人が期間中に2回、3回と取り組んでも「人数」は1人とします。
- (3)「時間」は、「普段であればつけているテレビ・ゲーム・パソコンを消した時間」とします。この時間をできるだけ読書推進の取組とリンクします(読書以外の行動でもかまいません)。期間中に取り組んだ時間を園・学校単位で合計します。
- (4)「期間」は、春は2012年5月30日(水)～6月5日(火)。秋は2012年11月1日(木)～11月7日(水)を「環境ウィーク」として取り組みますが、この前後であれば、各園校で独自に期間を定めて取り組んでもかまいません。
- (5)読書は分野を問いませんが、「環境に関する参考図書リスト」をホームページ(<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/book.html>)に掲載していますので、活用して下さい。

2012年の目標

300園校の園児・児童・生徒・学生5万人による
CO₂削減10トン(立木約150本相当)

(注:5万人×5時間×0.04kgで計算)

●ホームページ・問い合わせ●

詳細は、<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/index.html>まで

ESD円卓会議

検索

岩手県幼小中高大専ESD円卓会議事務局:岩手大学学務部

TEL:019-621-6091 FAX:019-621-6065 E-mail:ginga@iwate-u.ac.jp

共同行動登録カード



送信先:019-621-6065

岩手県幼小中高大専ESD円卓会議事務局 行



岩手県
幼小中高大専
ESD円卓会議

いっしょにやろうよ、できること!

期間:春/5月30日(水)~6月5日(火) 秋/11月1日(木)~11月7日(水)

—テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2012—

学校名/幼稚園名	
参加人数	
参加総時間(時間)	() 時間 () 分
参考(コメント)	

寄せられたコメント

- ◆「親子で読書」が定着してきたようです。今回も、たくさんの絵本の名前があがっています。(幼稚園)
- ◆絵本の読み聞かせが少しずつ定着してきているようです。(幼稚園)
- ◆今年も取り組むことにしました。テレビ・ゲームをしないで読書・学習をすると落ち着いた生活ができることに気がついた子たちが何人かいました。いいことだと思いました。毎年参加していきたいと思います。(小学校)
- ◆全家庭において積極的に取り組んでいただきました。今回は、読書をするご家庭が多く、本にふれるいい機会となったようです。(小学校)
- ◆初めての取り組みでしたが、お家の方々のご協力を得て、全校生徒が取り組むことができました。(中学校)

「共同行動2011」の結果

	園・校数	参加人数	時間	CO ₂ 削減
幼稚園	93	5,165	37,687.6	1,507.5kg
小学校	126	33,304	115,122.8	4,604.9kg
中学校	49	11,461	35,735.1	1,429.4kg
高等学校	13	4,045	22,247.2	889.9kg
特別支援学校	1	52	183	7.3kg
大学	2	146	1,245.5	49.8kg
専修学校	2	42	389	15.6kg
合計	286	54,215	212,610.2	8,504.4kg

- ◆携帯電話をいじらなかつたり、ゲームをしないと最初は暇に感じたが、少しずつ本を読んだり、家族との時間にすることで有意義な時間を過ごすことができた。(高等学校)
- ◆携帯電話やゲームの使用を控えた生徒が多く、自由時間の過ごし方を振り返っていました。(支援学校)